

平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業実績報告書 (別紙1)

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔愛知県教育委員会〕

1 事業実施期間 平成25年4月23日～平成26年3月25日

2 拠点校及び連携校

区分	学校名	学級数	児童生徒数
拠点校(中学校)	愛西市立佐屋中学校	25 (2)	853
連携校 (拠点校中学校区 内の小学校)	愛西市立市江小学校	12 (1)	301
	愛西市立佐屋小学校	23 (2)	671
	愛西市立佐屋西小学校	14 (2)	308

※学級数の()には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

3 意識調査(アンケート共通項目) (%)

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをするのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	828	48.4	38.1	9.6	4.0	61.7	29.7	5.8	2.7	34.7	45.6	16.0	3.6	27.7	46.9	18.7	6.7
		前年②	831	47.1	39.9	8.1	4.9	62.8	29.3	5.3	2.7	36.5	45.3	14.3	3.9	25.0	51.0	17.7	6.2
		本年①	853	49.7	35.6	9.6	5.1	59.2	29.5	7.8	3.5	37.5	42.5	16.8	3.2	29.7	46.5	17.4	6.5
		本年②	853	53.1	32.1	9.0	5.8	58.0	30.5	7.2	4.3	45.2	35.7	14.3	4.8	35.1	37.7	17.7	9.5
	3	中2①	264	34.4	46.2	13.4	5.9	51.0	37.2	8.3	3.6	32.0	44.3	19.8	4.0	24.5	47.4	20.6	7.5
		中2②	265	33.7	49.4	10.3	6.5	51.3	37.5	6.5	4.6	31.0	47.5	16.5	5.0	18.8	51.7	21.5	8.0
		中3①	264	39.4	40.2	12.4	8.0	52.2	36.9	5.6	5.2	36.9	39.8	19.3	4.0	23.3	47.4	20.5	8.8
		中3②	264	53.6	27.8	11.9	6.7	58.0	32.0	6.4	3.6	49.6	36.9	9.5	4.0	38.5	36.1	14.7	10.7
	2	中1①	308	60.9	30.3	6.6	2.3	73.4	20.1	4.5	2.0	39.8	44.4	12.5	3.3	40.1	42.8	13.8	3.3
		中1②	311	54.5	33.4	8.1	3.9	69.8	23.7	4.9	1.6	39.3	42.5	15.3	2.9	28.2	48.4	16.9	6.5
		中2①	309	54.8	33.0	8.5	3.7	64.3	26.2	6.5	3.1	38.1	42.2	15.6	4.1	30.7	42.0	19.5	7.8
		中2②	309	57.8	32.9	4.5	4.8	65.9	26.2	4.5	3.4	51.0	32.1	13.1	3.8	37.9	35.2	18.3	8.6
	1	小6①	281	52.9	37.4	7.2	2.5	73.0	24.5	2.2	0.4	36.8	47.7	13.4	2.2	43.8	44.9	8.3	2.9
		小6②	282	47.8	34.8	11.2	6.2	70.3	21.7	5.8	2.2	30.2	53.8	13.1	2.9	29.7	51.1	15.2	4.0
		中1①	280	53.6	34.2	8.3	4.0	60.1	26.3	11.2	2.5	37.4	45.3	15.8	1.4	34.4	50.4	12.3	2.9
		中1②	280	47.8	35.2	11.1	5.9	49.6	33.7	10.7	5.9	34.8	38.5	20.0	6.7	28.9	41.9	20.0	9.3
小学校	高学年計	前年①	531	52.5	36.0	8.6	2.9	72.0	23.9	3.6	0.4	32.2	48.9	16.3	2.5	45.0	43.7	8.5	2.9
		前年②	531	46.6	38.3	10.1	5.0	71.5	21.3	5.2	1.9	27.8	53.0	16.1	3.1	37.4	48.3	11.4	2.9
		本年①	493	44.6	39.8	9.9	5.7	63.4	28.0	5.9	2.6	30.0	46.7	18.6	4.7	45.5	38.3	11.3	4.9
		本年②	493	54.4	33.9	6.1	5.5	68.3	24.5	5.7	1.4	33.7	49.3	13.1	3.9	43.3	43.1	10.1	3.5
	6	小5①	250	52.0	34.4	10.2	3.3	70.9	23.4	5.3	0.4	27.0	50.4	19.7	2.9	46.3	42.2	8.6	2.9
		小5②	249	45.2	42.3	8.8	3.8	72.9	20.8	4.6	1.7	25.0	52.1	19.6	3.3	46.3	45.0	7.1	1.7
		小6①	242	44.2	41.7	9.9	4.1	61.8	28.2	7.1	2.9	27.0	48.1	20.3	4.6	46.9	38.5	11.7	2.9
		小6②	242	55.4	33.1	5.0	6.6	64.9	26.4	6.6	2.1	30.2	53.3	13.2	3.3	40.8	48.3	8.3	2.5
	5	小5①	251	45.0	37.8	10.0	7.2	64.9	27.9	4.8	2.4	32.9	45.4	16.9	4.8	44.2	38.2	10.8	6.8
		小5②	251	53.4	34.8	7.3	4.5	71.7	22.7	4.9	0.8	37.2	45.3	13.0	4.5	45.7	38.1	11.7	4.5

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた				キ 叩いたり、けったり、強く押したりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせた			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学	本年①	853	75.7	13.9	4.1	6.2	70.5	18.3	4.2	7.0	78.2	13.4	3.0	5.4	79.1	13.4	2.4	5.1
	年計	本年②	853	77.8	12.6	5.0	4.6	71.8	16.7	5.8	5.7	81.0	10.8	4.8	3.3	81.4	11.8	3.8	3.0
	3	中3①	264	87.0	6.5	1.2	5.3	82.6	10.1	2.0	5.3	87.0	7.7	1.6	3.6	87.4	8.1	1.4	3.2
		中3②	264	88.9	3.6	3.6	4.0	83.3	7.1	4.8	4.8	87.3	4.4	5.2	3.2	88.9	4.0	4.0	3.2
	2	中2①	309	70.7	15.9	4.6	8.8	65.4	21.9	3.2	9.5	72.1	16.3	2.8	8.8	74.6	14.8	1.4	9.2
		中2②	309	74.5	14.8	4.8	5.9	70.3	19.3	6.6	3.8	77.2	13.8	4.1	4.8	79.7	13.4	3.1	3.8
	1	中1①	280	70.7	18.7	6.2	4.4	64.8	22.0	7.3	5.9	76.6	15.8	4.4	3.3	76.2	16.8	4.4	2.6
		中1②	280	71.1	18.5	6.7	3.7	62.6	23.0	5.9	8.5	79.3	13.7	5.2	1.9	76.3	17.4	4.4	1.9
小学校	高学	本年①	493	61.7	20.8	8.4	9.2	56.6	25.1	10.6	7.7	67.0	21.4	6.7	4.9	67.2	20.8	6.9	5.1
	年計	本年②	493	68.7	20.9	5.3	5.1	61.6	23.1	7.2	8.2	73.2	20.7	2.9	3.3	70.1	23.5	4.3	2.0
	6	小6①	242	61.0	18.3	7.5	13.3	58.1	21.6	12.0	8.3	61.8	21.2	9.5	7.5	62.2	19.9	9.5	8.3
		小6②	242	74.0	17.8	4.1	4.1	63.2	22.3	6.2	8.3	74.4	20.2	2.9	2.5	69.4	23.6	5.0	2.1
	5	小5①	251	62.4	23.2	9.2	5.2	55.2	28.4	9.2	7.2	72.0	21.6	4.0	2.4	72.0	21.6	4.4	2.0
		小5②	251	63.6	23.9	6.5	6.1	59.9	23.9	8.1	8.1	72.1	21.1	2.8	4.0	70.9	23.5	3.6	2.0

※小学校は、連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施したもの

※「オ」～「ク」の項目は、平成25年度から実施

※本年度第2回(②)以外は、「ブロック協議会資料」に記載した数値を記入

4 課題・目標・取組

課題	学習内容の理解や人間関係の構築などを十分に進めることができないために、学校生活に不安を覚える児童生徒が少なくない。
目標	授業改善を行い、わかる授業づくりを実現するとともに、人とかかわり合う活動を通して、コミュニケーション能力を育成する。
取組	① 協同的な学習を取り入れた授業改善 ② 生き方教育のカリキュラムの運用と見直し ③ 児童と生徒がかかわり合う場の充実

5 重点推進事項

小・中共通	① 協同的な学習を取り入れた授業改善 ② 生き方教育のカリキュラムの運用と見直し ③ 児童と生徒がかかわり合う場の充実
-------	---

6 意識調査結果の分析と考察

成 果	成果があがったと考えられる主な理由
<ul style="list-style-type: none"> 「ウ 授業に主体的に取り組んでいる」に当てはまると答えた児童生徒の割合が増加した。 「エ 授業がよくわかる」に当てはまると答えた児童生徒の割合が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 協同的な学習を取り入れたことで受身としての授業参加ではなく課題解決の場面や話し合いの場面などで子どもたちの主体的な姿が見られるようになった。授業研修会や授業研究会を通して協同的な学習とその手立てについて共通理解を図ったことが有効であった。 上記のように授業に主体的に取り組む児童生徒の割合が増加したこと、協同的な学習の授業展開で子どもたちが思考を働かせ、授業に参加したことが理由として考えられる。

課 題	課題として残ったと考えられる主な理由
<ul style="list-style-type: none"> 学級・学年によってはアンケート結果が好転していない。 「ア 学校が楽しい」「イ みんなで何かをするのは楽しい」「ウ 授業に主体的に取り組んでいる」「エ 授業がよくわかる」に否定的な回答をした児童生徒の割合が減少していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験年数の少ない教員にとっては、協同的な学習を取り入れた授業展開は簡単ではない。授業規律の徹底や教材研究の充実など、授業力の向上が必要である。 協同的な学習を通してグループ内で男女分け隔てなくかかわる子どもたちの姿が見られるようになった。反面、そういった活動に入れずに孤立している子どもの姿も少なくない。そのような子どもたちへの支援のあり方について考えていく必要がある。

7 2年間の調査研究の成果と課題

① 協同的な学習を取り入れた授業改善

- 子どもたちの主体的な活動を取り入れているため、授業に主体的に取り組む姿が見られるようになった。
- 授業でかかわり合う場面を設定したことで、子どもたちが誰とでも分け隔てなくかかわる姿が見られるようになった。
- 子どもたちの主体的な活動を取り入れた授業を展開するためには授業規律の徹底や教材研究の充実などの授業力の向上を図る必要がある。

② 生き方教育のカリキュラムの運用と見直し

- 生き方教育カリキュラムを運用しながら見直し、道徳の時間を要とした道徳教育を実践したことで、アンケート項目（独自項目）「協力して学校や学級の仕事に取り組む」「学校行事に積極的に参加している」の数値に上昇傾向が見られた。
- 道徳的実践力を育てていくため、今後も話し合い活動を中心に据えた道徳の時間の指導過程の工夫と話し合い活動を支える教師の支援の工夫を進めて行く必要がある。

③ 児童と生徒がかかわり合う場の充実

- 小学校の児童及び保護者に部活動公開を行い、中学生の子どもたちが部活動に取り組む様子を参観する機会をもったり、あいさつ運動や部活動指導で児童生徒がかかわり合う場面を設定したことで、中学校進学時の不安を多少軽減することができた。
- あいさつ運動や部活動指導については中学生の子どもたちが小学校へ移動する際の安全面の確保が重要になるが、今後も継続するとなると他の方法を模索する必要がある。

8 取組内容

(1) 月別実施内容

※「実施状況」の欄は、次の記号で取組内容ごとに示す。

- ・・・予定どおり実施
- △・・・時期を変更して実施又は実施予定
- ◇・・・計画書にはないが新たに実施
- ×・・・実施しなかった

<平成24年度>

月	小学校における主な実施内容	実施状況	中学校における主な実施内容	実施状況
毎月	研究授業（全小）	○	研究通信の発行【小中合同】 授業公開【小中合同】	◇ ○
4月	授業研究会（市江小）	○	発志式（1年） 第1回小・中連絡協議会【小中合同】 第1回連絡協議会〔東京〕（小・中）	○ ○ ○
5月	第1回意識調査（全小） 第1回縦割り遊び（佐屋西小） 授業研究会（佐屋小・佐屋西小） パネル展示（全小）	○ ◇ ○ ◇	第1回意識調査 授業研修会【小中合同】 第1回授業研究会【小中合同】	○ ◇ ○
6月	縦割り班会議（市江小） ギネス大会（縦割り・市江小） 第2、3回縦割り遊び（佐屋西小） 授業研究会（佐屋小・佐屋西小）	○ ○ ○ ○	第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会（小・中） 学校訪問	○ ○
7月	授業研究会（市江小）	○	第2回授業研究会【小中合同】	◇

	授業研究会(佐屋小)	○	第2回小・中連絡協議会【小中合同】	○
8月	道徳授業研修会(佐屋西小) 縦割り班の編制(佐屋小)	○ ○	第3回小・中連絡協議会【小中合同】 生徒指導夏期研修会【小中合同】	◇ ○
9月	運動会(縦割り競技:全小)	○	文化祭・縦割り合唱・体育祭・縦割り応援(全学年)	○
10月	ビデオレター交流(全小:5・6年)	○	第1回道徳授業研修会【小中合同】 小中合同部活指導【小中合同】 第3回授業研究会【小中合同】 第4回小・中連絡協議会【小中合同】 ブロック協議会〔三重〕(小・中) 第2回道徳授業研修会【小中合同】 県生徒指導担当指導主事会(取組発表)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
11月	パネル展示(全小)	○	第4回授業研究会【小中合同】 第5回授業研究会【小中合同】 職場体験学習(2年) 第5回小・中連絡協議会【小中合同】	○ ○ ○ ◇
12月	ビデオレター交流(全小:5・6年) 第2回意識調査(全小)	○ ○	第2回意識調査 研究推進研修会	○ ○
1月	ビデオレター交流(全小:5・6年)	○	第6回小・中連絡協議会【小中合同】 小中合同あいさつ運動【小中合同】	○ ○
2月	二分の一成人式(全小:4年) パネル展示(全小)	○ ○	第6回授業研究会【小中合同】 第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中) 第2回連絡協議会〔東京〕(小・中) 立志式(2年)・大志式(3年)	○ ○ ○ ○
3月	第3回意識調査(全小)	○	第3回意識調査 第7回小・中連絡協議会【小中合同】 中学校紹介・体験入学・部活動公開【小中合同】 リーフレットの作成・配布【小中合同】	○ ○ ○ ○

<平成25年度>

月	小学校における主な実施内容	実施状況	中学校における主な実施内容	実施状況
毎月	研究授業(全小)	○	研究通信の発行【小中合同】 授業公開〔一人年3回〕【小中合同】 小中合同あいさつ運動〔年9回〕【小中合同】 小・中連絡協議会〔年21回〕【小中合同】	○ ○ ○ ○
4月			授業研修会【小中合同】 発志式(1年) 第1回連絡協議会〔東京〕(小・中)	○ ○ ○
5月	パネル展示(全小) 第1回意識調査(全小)	○ ○	第1回意識調査 第1回授業研究会【小中合同】	○ ○
6月	縦割り班会議(市江小) ギネス大会(縦割り・市江小) 縦割り遊び(佐屋西小)	○ ○ ○	第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中) 第2回授業研究会【小中合同】 第3回授業研究会【小中合同】 学校訪問	○ ○ ○
7月	第2回意識調査(全小)	◇	第2回意識調査	◇
8月			研究推進研修会【小中合同】	○
9月	運動会(縦割り競技:全小)	○	文化祭・縦割り合唱・体育祭・縦割り応援(全学年)	○
10月	ビデオレター交流(全小:5・6年) 第3回意識調査(全小)	○ ◇	第4回授業研究会【小中合同】 小中合同部活指導【小中合同】 第5回授業研究会【小中合同】 第3回意識調査 ブロック協議会〔大阪〕(小・中)	○ ○ ○ ◇ ○
11月	パネル展示(全小)	○	職場体験学習(2年) 海部地方教育事務協議会主催研究協議会(小・中) 紀要の配布【小中合同】	○ ○ ○
12月	ビデオレター交流(全小:5・6年) 第4回意識調査(全小)	○ ○	第4回意識調査	○
1月	ビデオレター交流(全小:5・6年)	○		
2月	二分の一成人式(全小:4年) パネル展示(全小)	○ ○	第6回授業研究会【小中合同】 第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中) 立志式(2年)・大志式(3年) 第2回連絡協議会〔東京〕(小・中)	○ ○ ○ ○
3月	第5回意識調査(全小)	○	中学校紹介【小中合同】 部活動公開【小中合同】 第5回意識調査	○ ○ ○

(2) 重点推進事項の実施状況

① 協同的な学習を取り入れた授業改善

ア 小中合同授業研修会（年1回）

協同的な学習の進め方を模擬授業（中学3年数学「相似な図形」）を通して、目指す授業とその手立てを全教師が確認する場とした。



模擬授業の様子

(ア) 協同的な学習を進める手立て

- ㊦ 対話（対象・他者・自己）を中心とした授業づくりを工夫する。
- ㊧ 聴き合う関係づくりを進めるための支援を工夫する。
- ㊨ 対話を深める教師の支援を工夫する。

イ 小中合同授業研究会（年6回）

協同的な学習を進める手立ての共通理解の場として行った。協同的な学習を進める手立てを指導案に明記し、視点をもって授業を参観していただいたため参観者からは「対話についてイメージがもてた」「子どもたちの意見をつないだり、もどしたりすることの大切さがわかった」などの感想が聞かれた。

ウ 授業研究会（月1回）

月曜日の6限に実施したため、授業研究会を行わない学級は全て下校した。そのため全ての教師が授業を参観することができ、授業づくりについて学ぶことができた。なお、指導案の作成については該当する教師の空き時間を調整することで教科部会を授業時間内に設定して2回行った。そのため、授業者以外の教師も指導案作成に積極的にかかわることで授業づくりについての学びを深めることができた。

エ 授業公開（一人年間3回は授業を公開）

授業づくりの研修を進めて行くためには、教師一人一人が授業を公開し合い、互いに学び合うことが必要になる。そのため、教師一人一人が年間3回の授業公開を行っている。授業公開については、普段の授業から学び合うことが目的であるため、指導案の準備は行わない。授業公開後には、参加者によるビデオ協議会なども行われ、互いの授業から学ぼうとする教師集団を形成することができてきている。

オ 「授業の振り返りシート」

互いの授業から学び合う授業研究会や授業公開を行う上で、「授業の振り返りシート」を活用した。これは、授業を行ったり参観したりするときの視点となるシートである。いくら多くの授業を参観しても、参観する視点が明らかでなければそこから学ぶことは少ないと考え、準備した。「授業の振り返りシート」の作成時には、協同的な学習を進める手立てを意識できるようにすることを工夫した。

授業の振り返りシート

「みんなで、みんながわかる授業を創り上げる」振り返りシート

場面	期待する子どもたちの姿	◎ ○ △
心構え	3分前着席・授業の用意・服装・忘れ物・あいさつ	
課題をつかむ場	子どもたちが課題を解決する必然性を感じている。	
考えをもつ場	困っている子どもは、グループの子に訊くことができている。	
	訊かれた子どもは、説明することができている。	
	自分なりの考えを記述することができている。(図・イラスト・言葉など)	
繰り返す場	教師は、子どもたちの発言を受容し、賛賞している。	
	教師は、子どもたちの発言を聴く(訊く)ことができている。	
	子どもの考えの根拠「どこでそう思ったか?」や理由「どうしてそう考えたのか?」	
	考えの変容「考えが変わった(変わらなかった)理由は?」を聴いて(訊いて)いる。	
	子どもたちは、相手の反応を確かめながら話を伝えることができている。	
	子どもたちは発言者の方を見て、柔らかな表情でうなずきながら聴いて(訊いて)いる。	
振り返る場	意図的指名や「問いかけ」を行うことで、子どもたちの考えを「つなぐ」ことができたか。	
	話し合いで「もどす」問いかけをすることで、話し合いの論点を明確に進めることができたか。	
その他	子どもたちは、今日学んだことを自分の言葉でまとめることができている。	
	「みんなでみんながわかる授業を創り上げる」ことを可視化した(価値づけを行った)。	
	授業から逃避してうつぶせた子に、1分以内に声をかけることができたか。	
子どもたちの学ぶ姿から		

② 生き方教育カリキュラムの運用と見直し

ア 生き方教育カリキュラムの改善

㊦ 生き方教育カリキュラムとは

特別活動をはじめとした体験活動と道徳教育の時間との関連を図るカリキュラム。
各学年2実践行い、子どもたちのコミュニケーション能力や、自分の役割と責任を
自覚し、集団生活の向上に努めようとする態度や能力を育成した。

㊧ 取り組んだカリキュラム（一部紹介）

中学校1年「自分たちの力で名古屋分散」（実施時期：9月～11月）

中学校2年「働くことの意義を考えよう（職場体験）」（実施時期：9月～11月）

中学校3年「佐屋中の誇り、学校祭を成功させよう」（実施時期：7月～9月）

㊨ 実践のまとめ

学級活動（9月27日）
主題名：学校祭を振り返って（2）イ
ねらい：学校祭を振り返り、そこに至るまでの自分の心の変化や成長を見つめさせる。

授業の振り返り

- ・ 学校祭で得たものは「絆」。これから先、みんなで力をあわせて大きなことをやるというのは少ないと思う。あと学校生活も半年となって、入試に向けて大変な時に学校祭のことを思い出して壁を乗り越えていきたい。
- ・ みんなでブロック活動をやる楽しさや達成感、協力できるよさを学校祭を通して得たと思う。
- ・ 私は学校祭で、みんなで1つのものをつくる楽しさを味わって、クラスの絆が深まったと思う。
- ・ 3年生のリーダーでない人も含めて、楽しく真剣にやる雰囲気をつくってくれたと思う。
- ・ 合唱は初めはみんなの前で歌うのが嫌で小さな声でしか歌えなかったけど、だんだん、大きい声で歌えるようになってきて本番は自信をもって歌うことができたと思う。



競技前にクラスで団結する様子



ブロックのメッセージ掲示板

学級活動（9月30日）
主題名：後輩たちへのメッセージづくり（1）ウ
ねらい：学校祭の一連の活動の中で、後輩に継いでほしい伝統を残そうという気持ちをはぐくむ。

授業の振り返り

- ・ 自分たちが中心になって進める今年の学校祭は、大成功で本当によかった。来年の3年生には、自分たち以上にすばらしい学校祭をつくってほしいと思った。
- ・ 自分たちができたこと、うまくできなかったことを参考にして、来年はさらによりよい学校祭にしていってほしい。

後輩たちへのメッセージづくり ～後輩へ無形のたすきをつなげよう～

来年度のプロブロック長 副ブロック長へ

- ・ すごく大変だったけど、がんばったら、がんばっただけ達成感・充実感が大きいから最後まであきらめずががんばってください。悩むことはたくさんあると思いますが、自分の味方は絶対にいるので、くじけずにリーダーたちと協力して素晴らしい学校祭をつくってください。

来年度の演技リーダーへ

- ・ 人に演技を教えることと自分がただ踊るだけでは、全然違うことがわかった。楽しく笑顔でやるのが大切。夏休みから真剣に考えないと、9月からブロックの練習がはじまったときに困る。服装とかも3年生が見本をみせて、1・2年生をひっぱっていくことが大切になると思う。注意するときは注意して、ほめるときはほめて、ブロックをまとめていってください。

来年度の合唱リーダー 指揮者 伴奏者へ

- ・ 計画通りに進まないことが多く、みんなをまとめる大変さがよくわかった。だけど、想像以上に合唱リーダーは楽しかった！
- ・ 誰よりも早く自分が先に行動するように心がけた。怒らず、怒鳴らず、みんなの前では泣かないようにした。

来年度のシンボル旗制作担当者へ

- ・ シンボル旗が完成した時の達成感はずよかった。いろいろな困難があるけど、それも吹き飛ばすような気持ちです。シンボル旗の人は、演技練習に参加できない時もあるから、家で演技を覚えるようにがんばってください。



後輩へのメッセージを書く様子

上記の資料は3年生が取り組んだ実践のまとめである。実践後には、上記のような活動のまとめを作成することで次年度以降の活動をより有意義なものにしていく。

イ 道徳の時間の指導法改善

平成24年10月に「道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深める道徳授業～“級友から学びつつ、自らに問いかけることのできる道徳授業”を求めて～」についての学習会を行った。講師の先生からは、道徳的実践力を育てていくため、話し合い活動を中心に据えた指導過程の工夫と話し合い活動を支える教師の支援の工夫が授業改善のために必要であることが伝えられた。

それを受けて、道徳の時間に話し合いを深めるための工夫として以下の点を全学級で取り入れた。

- ・ 資料の提示は読み聞かせで行う。
 - ・ コの字型の形にして互いの意見を交流させる。
- 平成25年度は月に1回、学年部で指導案を作成し、授業研究を進めることで授業改善に取り組んだ。

③ 児童と生徒がかかわり合う場の充実

ア 小中合同あいさつ運動

㊦ 活動のねらい

中学生が小学校の校門で、小学生とあいさつ運動を行うことで、中学生と小学生との交流を図る。

㊧ 児童の感想（一部抜粋）

- ・ 先生も中学生の人も優しくて安心しました。中学生の人を見ていると、中学生になるときの不安が少し減ったような気がして、頼りがいのある人たちだなと思いました。

㊨ 生徒の感想（一部抜粋）

- ・ 小学校6年生で中学入学を目の前にしたとき不安でした。特に先輩、後輩の関係が心配でした。でも、今日、小学生と話をして少しは安心してくれたかなと思いました。

㊩ 取組を振り返って

初めの活動時には、小学生だけでなく中学生にも緊張が見られた。しかし活動を重ね、顔見知りになることで緊張もほぐれ、元気にあいさつ運動を行うことができた。中学生の中には、緊張からあいさつがなかなかできない児童に対して笑顔であいさつをしたり、「忘れ物はないですか？」などのように一声添えてあいさつをしたりと、接し方を工夫して取り組む姿が見られた。

活動を重ねることで、児童生徒間のよい関係を築くことができた。

イ 部活動公開

㊦ 活動のねらい

- ・ すべての部活動を対象にして自由に見学できる機会を設定し、小中合同部活動指導で交流ができなかった部活動の様子も児童やその保護者に知ってもらうことで、部活動への不安を軽減させる。
- ・ 活動の様子を知ること、自分にあった部活を選択する機会となり、入部後のギャップや負担を軽減させる。

㊧ 児童の感想（一部抜粋）

- ・ 互いに声を掛け合っているところがすごいなと思いました。どの部活も仲間と協力してやっていて、「みんなと協力してやるのは大切なんだ」と思いました。入りたい部活はなかったことがないので不安ですが、お兄さんたちが優しく教えてくれているのを見て安心しました。

㊨ 保護者の感想（一部抜粋）

- ・ 日頃の学生の様子、先輩たちの姿を見ることができ親として安心しました。中学生といえど先輩との距離をととても感じる年頃なので、子どもの方も親と見学することで安心を覚えると思います。また、話し合う機会も増え、お互い心の準備をすることができたような気がします。特に第一子を中学校に送る家庭にとっては、親子で不安解消の一つの取組だと思います。

㊩ 取組を振り返って

保護者同伴での実施のため、「子どもと話し合うことができた」との声が多かった。



コの字型での道徳



あいさつ運動の様子



卓球部を見学する様子

保護者が児童の相談相手となることで不安の軽減につなげることができた。もう少し時間がほしかったという意見も多く、保護者・児童ともに高い関心を寄せていることが見て取れた。

また、生徒の活動の様子を実際に目にするすることで、在校生の姿を好意的に捉えている意見が多かった。他方、練習についていけるか不安だという声も聞かれたが、予め心の準備ができ、目標をもった児童も少なくなかった。部活が「楽しみになった」という児童も多く、入学前の部活動見学で前向きな気持ちをもつに至った。

ウ 中学校紹介

㊦ 活動のねらい

- ・ 小学6年生が、卒業前に中学校を訪問し、学校施設や授業の様子を見学したり、行事を中心に学校の様子の説明を受けたりすることで、中学校生活への意欲を高め、進学への不安を軽減する。
- ・ 中学生から学校生活の説明を聞くことで、中学生と小学生の交流を図る。

㊧ 児童の感想（一部抜粋）

- ・ 中学は心配で不安のイメージしかなかったけれど説明を聞いて少し安心しました。先輩方が説明してくださった行事は内容がよくわかり、自然教室と学校祭がすごく楽しみになり、不安はあるけど、楽しみです。

㊨ 生徒の感想（一部抜粋）

- ・ 私はいろいろなことに参加してきたので、それを新しく入ってくる子たちに伝えることができました。自分を見つめ直すきっかけにもなってよかったです。佐屋中がこんなに楽しいところだということを楽しみにして入ってきてくれると私もうれしいと思いました。

㊩ 取組を振り返って

教師による従来の説明に加えて、学校行事の概要と感想を在校生が直接児童に伝えるという方法をとった。具体的な感想を交えた説明を聞くことで、中学校での生活の様子を生徒の視点から知ることができ、入学後の見通しをもつことができた。そのため、中学校への不安が軽くなったという意見が多数を占めた。他方、新しい生活に不安をもつに至った児童もいたが、悲観的になるのではなく、自分の目標を立て、前向きに努力していこうという気持ちをもつことができた。さらに、説明を行った生徒の姿勢を見て、在校生に対してよい印象や感謝の気持ちをもつことができた。

エ 小小交流（パネル展示・ビデオレター）

3小学校の子どもたちが他の小学校の様子を知る機会は少ない。そのため中学校進学時に不安を覚える子どもは少なくない。小学校の子どもたちが他校の様子を知るために、パネル展示やビデオレターを行った。

パネル展示の内容は以下の通りである。

5月：入学式、遠足など

11月：運動会、社会見学など

2月：学習発表会、作品展など

上記のパネルを廊下に展示することで全校の子どもたちに紹介をした。

ビデオレターは、運動会の様子や合唱に取り組む様子などをナレーションを入れて編集したものである。

5・6年生が学活の時間に視聴し、その感想を返事としてビデオを送ってくれた学校に届けることで双方向の交流に心がけた。ビデオレターでは、興味をもって他校のビデオを視聴する子どもたちの姿が見られた。



在校生による学校紹介



パネル展示



感想を読む子ども

また、ビデオの感想は右の写真のように掲示物としてまとめた後に届けられた。掲示物の前では熱心にビデオの感想を読む姿が見られた。

9 事業担当者の活動

(1) 活動内容

実施要項の該当箇所		活動内容
4 (1)	事業全般	研究通信の発行 研究推進研修会の運営
4 (2)	小・中連携	合同授業研究会の企画・運営 小中連携行事の企画・運営
	小・小連携	小小連携行事の企画
4 (3)	データ収集、分析等	意識調査分析
4 (4)	取組の評価	意識調査分析
4 (5)	資料作成、広報等	紀要・学年通信、研究協議会

(2) 事業推進上の成果と課題

<成果>

- ・ 研究通信を発行や、各校での研究推進研修会の企画・運営を行うことで、4校が共通理解をもった上で研究を進めることができた。
- ・ 合同授業研究会では、本研究に関わる視点を提示した上で授業実践を行い、それについて協議会で振り返ることで授業づくりについて認識を深めていくことができた。

<課題>

- ・ 保護者や地域への情報発信が十分ではなかった。情報発信を積極的に行い、4校の保護者に学校での取組に関心をもっていただく手だてを実施していく必要があった。

10 教育委員会の取組

(1) 市町村教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・ 研究への取組のサポート
- ・ 研究内容の情宣活動

〔課題と成果〕

- 4校が取り組む研究であるため、研究担当者の提案内容を教育委員会担当者が校長会で連絡したり相談をする場をもったことで4校が歩調を合わせて研究に取り組むことができた。
- 研究を4校だけのものにするのではなく市全体へ広げていくために小中合同授業研究会には市内の小中学校へ開催案内を配布し、参加してもらった。また研究協議会を実施し、県内外から多くの参観者に来校していただき、佐屋中学校区での取組を発信した。
- 様々な行事や諸会議等には出席しているが、普段の学校での取組についても知る必要がある。そのため、時間を見つけて普段の児童生徒の取組の様子についても参観できればよかった。

(2) 都道府県教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・ 研究への取組のサポート

〔課題と成果〕

- 行政職員と指導主事によるサポート体制をとり、それぞれの立場からの確かな助言等を行うことにより、取組を円滑に進めることができた。
- 取組を進めていく上での必要な助言等に加え、県としてももう少し積極的な関わり方も工夫できるとよかった。

11 「魅力ある学校づくり調査研究委員会」

(1) 構成

所 属	人数	備 考 (主な職名等)
愛西市立佐屋中学校	4	校長・校務主任・生徒指導担当・道徳教育推進教師
愛西市立市江小学校	4	校長・教務主任・生徒指導担当・道徳教育推進教師
愛西市立佐屋小学校	4	校長・校務主任・生徒指導担当・道徳教育推進教師
愛西市立佐屋西小学校	4	校長・教務主任・生徒指導担当・道徳教育推進教師
愛知県教育委員会義務教育課	2	主査・指導主事
愛知県海部教育事務所	1	指導主事
愛西市教育委員会	2	指導主事
学識経験者	1	元中学校長
地域住民代表	1	愛西市教育委員会教育委員

(2) 事業推進上の成果と課題

<成果>

- ・ 学識経験者として元中学校長に参加していただいている。以前から小中連携について精力的に取り組んでみえた方であるため、多くの助言をいただくことができ有意義な会を運営できた。
- ・ 研究に携わる4校の主な担当者や各指導主事などが一堂に会し、研究の方向性や成果・課題について確認をすることで研究について共通理解を図ることができた。

<課題>

- ・ なし

12 作成資料等

<平成24年度>

- リーフレット「人とつながる活動を柱とした 魅力ある学校づくり」(6ページ)

<平成25年度>

- 紀要「正しく自己に目覚め、自己を育み、生きる力を培う学校づくり」(30ページ)

13 関連URL (※本事業に関連するものがあれば、ご紹介ください。)

なし

【問い合わせ先】

所属	愛知県教育委員会		電話	052-954-6790	
職名	主査	氏名	星原 秀晴	よみがな	ほしはら ひではる